

学校運営協議会 会議実施報告書

このことについて、「岐阜県立学校における学校運営協議会の設置等に関する規則」第8条第1項に基づき、次のとおり学校運営協議会を開催しましたので、その概要について報告します。

- 1 会議名 令和7年度 吉城高等学校 学校運営協議会 (第1回)
- 2 開催日時 令和7年6月3日(火) 13:30～14:30
*14:35～15:25 学校設定科目「地域プロジェクト学習」授業参観
- 3 開催場所 吉城高等学校 会議室
- 4 参加者
(敬称略)

会 長	沖畑 康子	本校卒業生
副 会 長	桐山 吉衛	本校卒業生
委 員	中村 健吾	飛騨青年会議所理事長
	小枝 憲一	本校同窓会副会長
	見田 祐琴	R6本校育友会役員
	西田 孝雄	本校育友会長
	早子 由美	本校育友会女性部長
学 校 側	野中 賀雄	校長
	下嶋 和長	教頭
	田本 里美	事務長
	井田 和実	教務主任
	野村 剛志	生徒指導主事
	中川 敬子	進路指導主事
	河野 和代	特別活動部長
	近藤 恵子	キャリア推進部長
	水野 悠真	理数科主任

5 会議の概要(協議事項)

(1) 会長、副会長の選出について

全委員より承認が得られた。

(2) 令和8年度入学生からの「総合的な探究の時間」の変更案について

学校からの説明

- ・ 現行のカリキュラムの課題について
- ・ カリキュラム変更案について

意見 1 : 「吉城高校ルーブリック」の集計結果を見ると、「見つける力」「伝える力」「解決する力」の数値が上がっている。この結果から小学校、中学校の探究学習が成果を上げていると言える。1年次に地域プロジェクト学習の内容を入れた「総合的な探究の時間」を設定することで、中学校までに身に付けた力を入学後にスムーズに繋げられる。そのあと、2年次、3年次の発展的な学びに段階的に繋がれると期待できる。

意見 2 : 学校からの説明で、探究的な学びが2年生に集中していることがよく理解できた。しかし、新しい案で3年次に「総合的な探究の時間」が設定されることで、生徒の学習にマイナスの影響はでないか。

回答 : 3年次で学ぶ「総合的な探究の時間」では教科横断的な学びができるように内容を計画するので生徒にとってより良いカリキュラムになると考えている。

意見 3 : 昨年度の探究報告会に参加して、1年間で結果を出すには短く、もっと時間をかけて深掘りできるとさらに良くなるだろうと感じた。同じテーマの探究活動を次の代に引き継がせるような工夫はできないか。

回答 : テーマの深掘りができるためにも来年度から地域プロジェクト学習の内容を1年次から始めたい。1年次から「総合的な探究の時間」でプロジェクト学習を始めることで、2年次は地域課題探究を選択し、テーマをさらに深める学びができると考えている。

(3) 今年度の取組について

意見 1 : 今年度の文化祭では古川中学校とのコラボ企画があると説明を受けた。生徒たちの連携が楽しみである。

意見 2 : 吉城高校のインスタグラムをフォローしている。内容が面白くなっている。吉城高校のPR活動としてよい印象を受ける。

意見 3 : 学校を宣伝するために顔を見せる活動が大切だと感じている。今年度、中学校の学校説明会に生徒を連れて行ったり、古川中学校に生徒が出かけていき、文化祭の連携を呼びかけたりすることは良い宣伝となる。変化が楽しみである。

意見 4 : 今年度、理数科の入学人数が少ない。入学志願者数が増えることを期待している。

意見 5 : 新たな取り組みを聞き、「楽しそうだ」と思えたり、「期待したい」という気持ちになったりした。学校が変わろうとする姿が見られた。

6 会議のまとめ

第1回学校運営協議会において、会長、副会長が選出され、学校経営計画を踏まえた学校運営基本方針について承認が得られた。また、令和8年度入学生からの「総合的な探究の時間」のカリキュラム変更についても委員から承認を得た。協議会後には、学校設定科目「地域プロジェクト学習」の授業を参観した。第2回学校運営協議会では「理数探究」の授業を参観する予定である。